

# 日南市（九州・沖縄ブロック）

【計画期間 24年12月～29年3月】

江戸～：古くから、堀川運河と油津港を基盤に、<sup>あぶらっ</sup> 飫肥杉や海山産品を搬出し、地域の経済拠点であった。  
 明治～昭和：県内でも先進的に、電気、鉄道、漁港等が整備され、東洋一のマグロの水揚げや飫肥杉の搬出により、港町油津としてまちが発展。百貨店・スーパー等が集積し、商業の中心地として賑わう。<sup>おび</sup>

## 【中心市街地を巡る状況】

- 郊外への商業施設の立地等に伴い、商店街の営業店舗率や歩行者通行量等が減少、賑わいを喪失。
- 郊外の住宅地化の進行による居住人口の減少及び高齢化の進展から、地域活力が低下。
- 飫肥、<sup>うぶ</sup> 鷗戸神宮等に年間200万人を超える観光客が訪れるものの、賑わいや経済的な波及等に課題。

目標	指標	現況値	目標値 (H28)
来て良かった、また来たいまち	1日平均歩行者・自転車通行量	3,599人 (H23)	4,100人
住みたい、住み続けたいまち	中心市街地の定住人口	3,281人 (H23)	3,400人

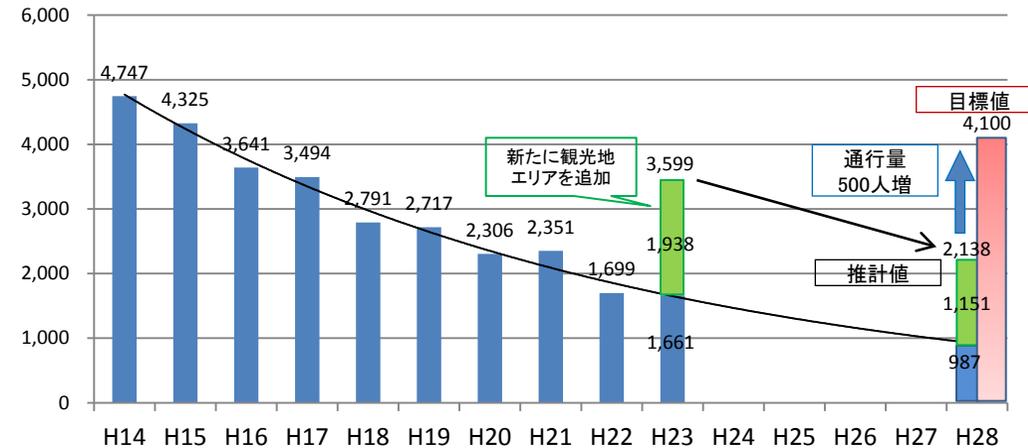
## 【中心市街地に関する指標の推移】

- 1日平均歩行者・自転車通行量（商業地エリア）  
H14:4,747人 → H23:1,661人（▲65.0%）
- 中心市街地の定住人口  
H7:4,084人 → H23:3,281人（▲19.7%）

## 【目指す中心市街地像】

- 商業・居住・観光の3つの特色ある各拠点の連携により、様々な人々が集い、賑わいのあるまちを目指す。

【1日平均歩行者・自転車通行量の動向と数値目標】



### ■来て良かった、また来たいまち

- ⇒①岩崎3丁目東・西地区優良建築物等整備事業（複合機能ビル建設事業等）、②観光拠点施設整備事業、③水辺の集い空間づくり事業等、④食の交流事業（グルメモール整備） など

### ■住みたい、住み続けたいまち

- ⇒⑤子育て支援施設事業、⑥子育て世帯定住促進事業、⑦空き家活用促進事業 など

# 日南市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 来て良かった、また来たいまち

### ①複合機能ビル建設事業

中心市街地に不足している商業施設・駐車場を整備するほか、住居、クリニックモール、住宅型有料老人ホームなど複合的な機能をもつビルを建設し、まちの魅力と生活利便性の向上を図る。

### ②観光拠点施設整備事業

#### ○歴史的由緒施設開館事業等

団体客の受け入れ等が可能な観光拠点施設の整備や、国登録有形文化財である油津赤レンガ館の活用等により、油津観光の魅力向上を図るとともに、滞在時間の増加を図る。

### ③水辺の集い空間づくり事業

#### ○水辺の憩い空間づくり事業

堀川運河・堀川夢ひろばにおいて、噴水・植栽等の整備を行うとともに、オープンカフェ設置の社会実験を行い、市民が集い、憩う空間を形成する。

### ④食の交流事業(グルメモール整備)

#### ○テナントミックスサポート事業

低未利用地を活用してニーズの高い店舗や屋台・マルシェ等を整備し、魅力向上を図る。



## 住みたい、住み続けたいまち

### ①複合機能ビル建設事業

住居、クリニックモール、住宅型有料老人ホームなど、複合的な機能をもつビルを建設し、まちの魅力と生活利便性の向上を図る。

### ⑤子育て支援施設事業

一時預かりや育児相談ができる子育て支援センターを複合機能ビル内に整備し、生活利便性と魅力の向上を図る。



### ○多世代交流施設事業

商店街内に多世代が交流できる施設を設置し、市民が集い憩うコミュニティ空間を形成する。

### ⑥子育て世帯定住促進事業

中心市街地外から中心市街地内の民間賃貸住宅に移住する子育て世帯に家賃の一部を支援し、定住人口の増加を図る。

### ⑦空き家活用促進事業

#### ○住宅建築促進事業

空き家の改修・住宅建設費等の一部を支援し、社会資本ストックの有効活用と定住人口の増加を図る。

